Cerezo OSAKA

NEWS & TOPICS

セレッソ大阪の 30 周年記念ロゴ。セレッソはスペイン語で桜の意。30 年間皆様とともに成長してきた桜の樹をモチーフに、チーム、サポーター、パートナー、スポンサー、ホームタウン、セレッソ大阪に携わるすべてのファミリーの皆様を 12 枚の花びらで表現。大阪のシンボルとしてアジア、そして世界で咲き誇るチームになるよう願いを込めています。

セレッソ大阪はクラブ設立30周年を迎えました

セレッソ大阪は 2023 年 12 月 9 日にクラブ設立から 30 年を迎え、2024 シーズンは 30 周年のアニバーサリーイヤーとなります。「For Our Osaka ～わたしたちの大阪のために～」をコンセプトに掲げ、夢・希望・感動という名の桜を満開にし、世界に誇れる大阪を皆様とともにつくり上げていきたいと考えています。1993 年のクラブ設立以来、どんなときも寄り添い、ともに歩んできた皆様がいたからこそ今のセレッソがあります。大阪の人々がセレッソに誇りと憧れを持ち、「大阪といえばセレッソ」と言っていただけるようなチームになれるよう、これからも一丸となって邁進してまいります。

勝負の2024シーズンが開幕！ 収穫と課題の第１節

アニバーサリーイヤーである 2024 シーズンは目標をリーグ優勝に定め、チーム始動から準備を重ねてきました。早く試合がしたいとはやる気持ちを抱えながら迎えたと前日に話した小菊昭雄監督。2 月 24 日の第 1 節。開始 27 分、試合を優位に保っていたセレッソは、カピシャーバ選手がヘディングで 1 点を先制しました。しかし前半 34 分、対する FC 東京に同点に追いつかれてしまいます。後半も立ち上がりから攻勢をかけ、50 分、ルーカス フェルナンデス選手のキックに田中駿汰選手が合わせて加入後初ゴールを決めます。その後もセレッソは攻勢をかけますが、75 分に再度同点ゴールを許し、試合はそのまま 2-2 で終了しました。2 度のリードを活かせなかったことは痛恨でしたが、ポジティブな面がたくさんあり、今後につながる一戦であったと小菊監督は語り、今節の収穫と課題を活かして今シーズンの勝利をつかみたいと思わせる試合となりました。

❶ルーカス フェルナンデス選手❷レオ セアラ選手❸田中駿汰選手❹毎熊晟矢選手❺小菊昭雄監督❻ゴールに沸く選手たち

セレッソ大阪30周年記念ウェブサイトはQRコードからもご覧いただけます。
https://www.cerezo.jp/special/30th_anniversary/

Photo ／ ©CEREZO OSAKA